

第20回
近畿学校図書館夏季セミナー
(奈良大会)

講義要項



作：中谷ゆか

平成28年8月4日(木)・5日(金)

於 奈良学園大学(登美ヶ丘キャンパス)・奈良学園登美ヶ丘中学校高等学校

第20回近畿学校図書館夏季セミナー〈奈良大会〉運営委員会

あ い さ つ

第20回近畿学校図書館夏季セミナー(奈良大会)

大会長 荒木 美久子

(奈良県学校図書館協議会 会長)

奈良県学校図書館協議会では、「学びの拠点としての学校図書館の創造」をテーマに県内研究会や第13回近畿学校図書館夏季セミナー(H14)を、また、「豊かな出会いと学びの学校図書館」をテーマとして第39回近畿学校図書館研究大会(H17)を開催してきました。自ら学ぼうとする子どもたちを育むために学校図書館の読書センター・学習情報センターとしての機能充実をめざしてのことです。行きたくなる学校図書館の環境づくり、自ら本を手にする子どもたちの育成をめざして、学校図書館教育に携わる人たちが創意を凝らし、実践を積み重ねてきました。

そして今、さらに協働的な学習を展開していこうとする子どもたちを育てるためには、「調べたことをもとに考え、生かす」という姿勢を築くことが必須であり、学びの基礎活動とも云うべき読書・学習・創造・交流の場の設定が必要となってきます。すなわち、子どもたちへの「読む」「学ぶ」「創る」「支える」支援が必要になってくるのです。

そこで、本セミナーでは「リーディング」「ラーニング」「クリエイティブ」「ネットワーク」センターとしての学校図書館の機能に視点をおき、4分科会・28分散会・4特別演習の講座を設定して、学びを深化させるために不可欠な場、ラーニング・コモンズとしての学校図書館の姿を追究していくことにいたしました。「知の獲得」「情報の創造」「人との交流」の場としての学校図書館の創造に向けて学び合い、語り合うことにより、これからの時代を生き抜く子どもたちの育成に寄与できるものと確信します。

参加されたみなさんが本セミナーでの「出会い」を生かし、さらに学校図書館教育の専門性を高めてくださることを切に願っております。

本セミナーでは、大会主題「学ぼう」「語ろう」に合わせ、すべての分散会を少人数制とし、交流の時間やワークショップ形式を取り入れます。県内外を問わず参加していただいたみなさまに、語り合える時間と場をご提供することで、「アクティブ・ラーニング」を感じ、人や情報との出会いから学びを持ち帰っていただければと願っています。

第20回近畿学校図書館夏季セミナー (奈良大会)のご案内

主 題 「学ぼう 語ろう 学校図書館で

～ラーニング・コモンスのスタート～

「21世紀型能力」※が提示され、その能力の育成方法として「課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習（アクティブ・ラーニング）等の充実」が重要視されています。教育の大きな転換期にそれらの理論と実践を学び、ラーニング・コモンスとしての学校図書館の整備・活用について語り合しましょう。

※ 国立教育政策研究所「社会の変化に対応する資質や能力を育成する教育課程編成の基本原則」（平成25年3月）

主 催 近畿学校図書館連絡協議会（奈良県・和歌山県・福井県・滋賀県・京都府・大阪府・
大阪市・兵庫県 各学校図書館協議会）

後 援 奈良県教育委員会・奈良市教育委員会・和歌山県教育委員会・福井県教育委員会・
滋賀県教育委員会・京都府教育委員会・大阪府教育委員会・大阪市教育委員会・
兵庫県教育委員会・公益社団法人 全国学校図書館協議会

全体会プログラム

・司会 大会運営委員 事務局 次長 松岡 有子

全体会（10：00～10：25）

- ・開会のことば 大会運営委員長 足立 有司
- ・主催者挨拶 奈良県学校図書館協議会会長 荒木 美久子
- ・来賓祝辞 奈良県教育委員会 学校教育課 課長補佐 椿本 剛也
全国学校図書館協議会 調査部長 磯部 延之
- ・会場校挨拶 奈良学園大学学長 梶田 叡一
- ・来賓紹介 大会副運営委員長 原井 葉子
- ・次期開催地挨拶 和歌山県学校図書館協議会
- ・閉会のことば 大会運営委員長 足立 有司

記念公演（10：30～12：00）

- ・講師紹介 大会副運営委員長 原井 葉子
- ・記念公演 【講師】 国立教育政策研究所教育研究センター
教育課程調査官 ^{おわたき}大滝 ^{かずのり}一登 様
【演題】『新しい時代に対応する教育と学校図書館の可能性』
- ・お礼のことば 大会長 荒木 美久子
- ・諸連絡 大会運営委員 事務局長 谷口 隆紀

第20回近畿学校図書館夏季セミナー（奈良大会）事務局
〒630-8302 奈良市白毫寺町633 奈良県高円高等学校内
TEL0742-22-5838 FAX0742-23-5651

記念講演

『新しい時代に対応する教育と学校図書館の可能性』

講師

国立教育政策研究所

教育課程研究センター

教育課程調査官

おおたき
大滝

かずのり
一登氏

【大滝一登氏プロフィール】

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官、国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官。

岡山県公立高等学校教諭、岡山県教育庁・岡山県総合教育センター指導主事、ノートルダム清心女子大学准教授を経て、2014年より現職。専門は国語教育学。

「高等学校教科指導パワーアップ事業教科指導コンサルタント」（岡山県教育委員会）、「言語活動指導者養成研修講師」（独立行政法人教員研修センター）等を歴任。

最近の著作に『「これからの時代に求められる資質・能力の育成」とは アクティブな学びを通して』（共著、東洋館出版社、2016）、『アクティブ・ラーニングを取り入れた授業づくり 高校国語の授業改革』（共編著、明治書院、2016）、『「古典A」を扱うことの意味：未来を生き抜くために必要な古典教育とは』（日本語学、明治書院、2015）等

【第1日】 8月4日(木)

9:30 10:00

12:00 13:30

14:50 15:10

16:30

受付	開会式及び記念講演 (奈良学園大学登美ヶ丘キャンパス)	昼食	第1分科会	休憩	第2分科会
			特別演習①②		



講師

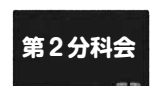
国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官 ^{おおたき}大滝 ^{かずのり}一登 氏



リーディング・センター

読書意欲を高め、読書力を育もう

申込no	校種	テーマ/演題	講師		分散会 会場
1 ①	小低	絵本大好き! 読書大好き! -魅力あふれる学校図書館をめざして-	和歌山県 田辺市立新庄第二小学校	教諭 廣畑 奈央子	2階 F
1 ②	小高	ぼくの本 わたしの本 ~さがして よんで すきになる~	兵庫県 神戸市立若草小学校	教諭 高田 景子	2階 Y1A
1 ③	小	友だち100冊できるかな 子どもと楽しむ読書活動一年間	大和高田市立陵西小学校	教諭 松吉 悦子	2階 Y1B
1 1	中	協働とは何か	滋賀県湖南市立日枝中学校	教諭 植西 亮太 学校司書 上田 由希子	2階 Y1C
1 1	全	図書館だよりを活用しての読書指導	大阪市立長池小学校 大阪市立三軒家西小学校	教諭 森田 春美 教諭 里 恵梨	2階 F 演習室
1 ⑥	高	学校図書館を活用化する	兵庫県立加古川北高等学校	教諭 岩本 麻衣子	3階 Y2A
1 ⑦	全	読みたい! 伝えたい! -ICTを活用したAくんの読書法-	奈良県立明日香養護学校	教諭 村瀬 直樹	3階 演習室



ラーニング・センター

主体的・協働的な学び方を探ろう

申込no	校種	テーマ/演題	講師		分散会 会場
2 ①	小	はがき新聞を活用した本の紹介活動(演習)	堺市立新浅香山小学校	校長 徳永 加代	2階 F
2 ②	小高	学校図書館の活用推進を目指した取組 ~各教科における授業をてんかいていくために~	京都市立唐橋小学校	教諭 山科 隆	2階 Y1A
2 ③	小	学校図書館からアクティブラーニングを進めよう	五條市立牧野小学校	教諭 田中 千鶴	2階 Y1B
			香芝市立真美ヶ丘東小学校	教諭 三木 毅士	
			香芝市立真美ヶ丘東小学校	教諭 西浦 富美子	
2 ④	全	ビブリオバトルの再構築と学校図書館の利用	福井県敦賀市立松陵中学校	教諭 奥村 耕二	2階 Y1C
2 ⑤	中・高	「言語技術」の授業	奈良育英中学校・高等学校	教諭 細川 恵利 学校司書 村上 祐子	2階 F 演習室
2 ⑥	高	司書とコラボのゼミナール	奈良県立奈良高等学校	講師 野村 恵子	3階 Y2A
2 ⑦	全	〈記紀・万葉の楽しみかた〉	奈良県立万葉文化館	指導研究員 井上 さやか	3階 演習室



申込no	校種	テーマ/演題	講師		分散会 会場
特別演習 1	全	えほんのひろば~ これまでとちょっと違う本の選び方・届け方	絵本あれこれ研究家	加藤 啓子	3階 Y2B
特別演習 2	小	作ろう! 演じよう! 楽しもう! かみしばい	紙芝居、絵本作家	中谷 有香	3階 Y2C

【第2日】8月5日(金)

9:00 9:30

10:50 11:10

12:30 14:00

15:00

受付	第3分科会	休憩	第4分科会	休憩	自由視察 登美ヶ丘中学校・高等学校図書館 奈良学園大学登美ヶ丘キャンパス図書館
	特別演習③④				

第3分科会

クリエイティブ・センター

情報を活用した新たな「知」を創り出そう

申込no	校種	テーマ/演題	講師	分散会 会場
3 ①	小低	紙芝居を楽しもう	桜井市立桜井南小学校 教諭 畑中 廣之 大和郡山市立郡山南小学校 教諭 松本 隆行	2階 F
3 ②	小高	子どもと本をつなぐ学校図書館 ～子どもとともに作る図書館環境	滋賀県日野町立南比都佐小学校 教諭 小林 由美子 滋賀県大津市立木戸小学校 教諭 中別 清子	2階 Y1A
3 ③	中	ビブリオバトル1〈演習〉	奈良県学校図書館研究会 中学校部会	2階 Y1B
3 ④	中	隙間のチャンスを活かして、一歩前へ	宇治市西立宇治中学校 教諭 伊藤 恵	2階 Y1C
3 ⑤	高	大阪府高等学校図書館研究会におけるICT活用	大阪府高等学校図書館研究会 富田 忍	2階 F 演習室
3 ⑥	高	求められる本、魅力ある本を届けるために	奈良県高等学校図書館研究会 学校司書部会 選書班	3階 Y2A
3 ⑦	全	共に学び、共に育つ ～気になる子どもの支援がみんなのものに～	奈良県教育委員会 学校教育課 特別支援係 大谷 啓之	3階 演習室

第4分科会

学校図書館ネットワーク・センター

学校・家庭・地域の連携を深めよう

申込no	校種	テーマ/演題	講師	分散会 会場
4 ①	小		福井市立明新小学校 教諭 千田 祥子	2階 F
4 ②	小	子どもの読書意欲を喚起する取り組みの工夫 ～学校図書館ボランティアと連携して～	海南市立巽小学校 教諭 中西 優未	2階 Y1A
4 ③	中	ビブリオバトル2〈実践報告〉	生駒市立生駒南中学校 教諭 杉田 幹子 生駒市立上中学校 教諭 寺田 澄子	2階 Y1B
4 ④	中	子どもも図書館も変わる ～学校図書館補助員とともに～	大阪市立茨田北中学校 教諭 駒田 法子	2階 Y1C
4 ⑤	高	連携によって広がる学校図書館の可能性	奈良県立五條高等学校 教諭 田中 鈴子 学校司書 上東 寿美	2階 F 演習室
4 ⑥	全	いまどきの子どもとオトナの「よむ」とは？ ～私たちが子どもたちに与えておきたい環境～	奈良県教育委員会 学校教育課 学事係長 小崎 誠二	3階 Y2A
4 ⑦	全	地域資源を使って学校図書館の活性化を図るには どうするか	大和郡山市立郡山北小学校 教頭 渡辺 肇	3階 演習室



申込no	校種	テーマ/演題	講師	分散会 会場
特別演習3	全	ブッククラブで楽しくアクティブ・ラーニング	立命館小学校 教諭 村田 淳子	3階 Y2B
特別演習4	全	POPの仕掛け	奈良県立高円高等学校 教諭 増田 貴司	3階 Y2C

特別演習 1

えほんのひろば ～これまでと違う本の選び方・届け方 写真集も取り入れよう～

奈良県 絵本あれこれ研究家
加藤 啓子

- ・“えほんのひろば”は、200～300冊の本の表紙が全部見えて並んでいる。その中から、「自分で・・・自分たちで選ぶ。」そのことを大切なこととしています
- ・そこは読書活動・・・でもなく、図書活動・・・でもない。みんなでワイワイと本と楽しむ場。子どもたちの中には、読書、本、読む・・・ことの苦手な子もいます。そんな子どもたちの抵抗を極力取り除き、ページをめくる。「たのしい!」「おもしろい!」「すごい!」の体験をしてほしいのです。
- ・ですから、“えほんのひろば”には、文字の多いものは入れません。たとえば、高校生たちが幼児絵本といわれている『はぐ』『わ』（福音館）を手にして満面の笑みを浮かべ、幼い子たちがおとな向けに出版されている写真集『絶景×絶景』（ナショジオ）『動物たちの惑星』（PIE）を、くいいるように見えています。
- ・『シルバー川柳』『女子会川柳』（ポプラ）『丼物』『麺本』のレシピ本など、先生方にうけることを狙ったものも必須。しかし、この本も実は子どもたちに大ウケ。
- ・つまり、“えほんのひろば”では、おとな子どもに関わらず、みんなが笑顔になれるところ。特に、お疲れモードの先生方に本を手にして笑ってほしいのです。子どもたちは、先生たちの笑っている姿を見て、ほんとうにうれしそうにしています。
- ・ひろばの中では、3～4人のグループになって、ひとり1ページずつ順番に読むこともすすめています。体をくっつけあって、体も心もほぐれていって、ゆっくり、ゆったり時間が流れます。
- ・“えほんのひろば”は、年に一回、学校行事として、ひとクラス一時間単位で組み込んでいらっしゃる場所もあります。学校教育課や図書館と連携したり、研修を重ねたり、それぞれ工夫、努力をされながら、子どもたちの笑顔が「また、こんど!」につながっています。

特別演習 2

「作ろう! 演じよう!」 楽しもう! かみしばい!

奈良県 紙芝居・絵本作家
中谷 有香

☆楽

まずは、紙芝居を楽しもう! 拍子木が鳴ったら「ゆかワールド」のはじまりです。

オリジナルの創作紙芝居・奈良の民話紙芝居をたくさん紹介いたします。

☆感

紙芝居って「読む」んじゃなくて「演じる」んです。演じ手の存在が臨場感をうみだします。

なかたにゆか流 演じ方 お伝えします。

☆描

「ぬく」ことで展開するのが紙芝居の特性。

どんなことに意識して描くのか。

描き手としての思いお伝えします。

☆創

紙芝居の特性を生かした画面を実際に創ってみましょう。

☆演

さあ! 実践。

制作した紙芝居を発表しましょう。

【持ち物】

- ・筆ペンやフェルトペンなど太い線が描けるもの。
- ・色鉛筆などの着色できるもの。
- ・自作の紙芝居をもちかえる袋



特別演習 3

ブッククラブで楽しく アクティブ・ラーニング

京都府 立命館小学校
教諭 村田 純子

1. はじめに

ブッククラブとは、たくさんの本を読み、読んだことについて質問や討論をする新しい国語の学び方です。

同じ本を読み、絵や図を使いながら正しく理解し、問いについて書き、話し合うことで、正確に読む力や、考える力、話し合う力を育てます。特に、課題の解決に向けて、討論することが大きな目標となります。これは、まさに Action Learning !

2. 具体的な進め方

①バックグラウンド・ナリッジ

お話を読むのに、必要不可欠な背景となる基礎や予備知識を指します。

②リードアラウド

音読をしながら質問をする、対話音読ともいえるもの。リードアラウドにより、内容を正しくつかみ、興味を高めます。

③シーケンスチャート・シーケンスマップ

物語の粗筋や、文章構成をまとめたものです。

④キャラクターマップ

物語では、登場人物がどのように関わっているかが大切になります。人物の相関図のことです。

⑤ビッグクエスチョン

物語の場合なら、主題にせまる「大きな問い」のことです。ビッグクエスチョンについて、考え話し合い課題を解決していくことこそが、ブッククラブの醍醐味！

まずは、みなさんで
ブッククラブを楽しみましょう！



特別演習 4

POPの仕掛け ビジュアル効果とPOPの作成〈実習〉

奈良県 奈良県立高円高等学校
増田 貴司

(1) はじめに

この特別演習は2008年奈良県高等学校図書館研究会学校司書部会の全体研修で実施した「広報活動に役立つポップ作成術」をベースに行います。

(2) 実践の概要

①POPについて

- ・販売促進のための広告媒体
- ・手描き
- ・個性的
- ・雰囲気

②色彩の効果について

- ・三原色
- ・色相環
- ・補色
- ・色彩コントロール法
- ・明度、彩度、色相

③構成(レイアウト)について

- ・メリハリ
- ・主役
- ・脇役
- ・舞台

④本の配置、POPの配置について

- ・季節感等イメージ
- ・本から本へ興味の数珠つなぎ
- 高野文子～ドミトリー・モトキンス

⑤POPを使つての展開

- ・校内、外への展開
- ・図書委員会活動

⑥これからの展開と可能性について

- ・ホームセンター
- ・大型モニター

⑦その他

- ・本への愛
- ・熱意

(3) POPの作成について

①素材について

- ・卓上
- ・大型パネル
- ・プライスカード
- ・吊り(タペストリ)
- ・のぼり

②アイデア

- ・資料
- ・情報収集

③生徒のPOPから

- ・本の題名とその説明文
- ・不快感を与えない

読む

- 学校図書館メディアの整備
- 魅力的なオリエンテーション
- 読書案内（図書館だより・ブックリストなど）
- 読書相談（個々への支援）
- 読書の質を高め、幅を広げる読書イベント（読書会・お話し会・朗読会など）
- 学校図書館のユニバーサルデザイン化
- 学校司書と教員が連携した読書推進活動



① 絵本大好き！ 読書大好き！

— 魅力あふれる

学校図書館をめざして—

和歌山県 田辺市立新庄第二小学校

教諭 廣畑 奈央子

1. はじめに

児童数149名の小規模校。以前から学校・保護者・地域による学社融合の取組に力を入れており、保護者・地域の理解や協力が得られやすい。図書館運営も図書ボランティアの協力をいただいている。

2. 図書ボランティアとの連携による図書館運営

(1) 「読み聞かせボランティア」

保護者や地域の方によるボランティアの登録者数20名。コーディネーターの保護者と図書担当者が相談・調整しながら年間活動計画を立て、実施している。隔週の金曜日、朝の読書の時間に読み聞かせを行い、読んだ本と子どもの反応等を記録している。

(2) 「図書館整備ボランティア」

子どもたちが自然に集まる魅力あふれる図書館をめざし、学校と協力しながら、学びを支える図書や資料の充実を図るために、図書選定の協力や図書受入作業を行っている。その他にも、本の修理、おすすめ新刊図書コーナー、掲示ポップづくり等を行いながら、読書センターとしての魅力ある環境作りに努めている。

3. 低学年の取組—絵本大好き！ 読書大好き！—

低学年では、ボランティアや担任による読み聞かせのほか、豊富な学校蔵書や学級文庫を生かして本に親しませる時間を適宜設けている。そのため、読書習慣が身についており、図書館の利用者も多い。

校区内にある県立図書館も活用し、司書の方に、読書のおもしろさや本の扱い方、読書のマナー等について教えていただく機会を設けている。

4. おわりに

学校とボランティアの連携の成果として、図書館環境がよりよいものになり、図書館利用も増えている。また、図書館を交流の場として、ボランティアが、各学級の様子や図書館利用について話し合ったり、子育てについて交流したりしている。それらのすべてが、子どもたちの読書に親しむ態度を育むことにつながっていると考えている。課題は、本年度増築する図書館の環境整備に向けた取組である。

第1 分科会

読書意欲を高め、読書力を育もう

リーディング・センター



② 神戸市図書館部編集

『ぼくの本 わたしの本』

～さがして よんで すきになる～

兵庫県 神戸市立若草小学校
教諭 高田 景子

1. 「ぼくの本わたしの本」とは

神戸市小学校教育研究会図書館部の教諭が子供たちにとって良書と思われる推薦本を選び、編集した本のリストである。このリストは神戸市の児童および保護者に希望販売している。

2. 出版の経緯

初版は1970年に発行された。最初は図書館部内での無料配布であったが、学校の先生方に子供たちにとってよりよい良書を知ってもらうために、各学校に数冊配布した。リストを知った保護者から頒布の希望があり、図書館部から公共財団法人神戸市スポーツ教育協会に発行を依頼、第11版が出版された。現在16版まで発行している。

3. 選書にあたって

さまざまなテーマ別に図書館部員の教師が選書している。子供たちの心をゆさぶり、励まし、生きる力がわくような本、子供たちが喜ぶ本をと心掛けて選んでいる。また、神戸中央図書館司書の方に新刊本やおすすめの本を紹介していただく「選定の会」も設けている。リストの改定の際には選書に役立て、常に新しい良書を紹介できるように心がけている。

4. 活用の仕方

小学生が自分で読みたい本を探し、選び、自由に書き込みができるようになっているため。そのため、6年間の読書の記録として子供たちが使用している学校もある。学校図書館には「ぼくの本わたしの本」のコーナーを設け、読みたい本が決めにくい児童はそのコーナーから選ぶように声かけをしている。



③ 「友だち100冊できるかな

～子どもと楽しむ

読書活動1年間～」

奈良県 大和高田市立陵西小学校
教諭 松吉 悦子

1. はじめに

「本は友だち 友だち100冊できるかな」子どもたちにたくさんの本に出会ってほしい、そんな思いが詰まった言葉である。本好きな子どもたちを育てるために、1年間取り組んできたことを紹介する。

2. 読書意欲を高める読書活動

(1) 春の出会いを大切に

- ①オリエンテーション
- ②読書貯金スタート
- ③読書ビンゴ

(2) 家庭でも読書を

- ①ファミリー読書のすすめ(夏休み・冬休み)

(3) 読書の秋です

- ①全校お話タイム
- ②読書の木(全校児童)
- ③読書カルタ作り(図書委員会)

(4) 冬は読書で温かく

- ①えほんのひろば
- ②エプロンシアター・パネルシアター
- ③カルタ大会(1年、2年)(図書委員会主催)
- ④辞書引き大会(3年～6年)(図書委員会主催)

3. 読書環境を整える

(1) 子どもが集まる図書室に

- ①面展台の活用
- ②掲示の工夫

(2) 図書ボランティア「ぼっかぽか」との連携

(3) 公共図書館との連携

4. おわりに

成果と課題

第1 分科会

読書意欲を高め、読書力を育もう

リーディング・センター



④ 協働とは何か

一学校図書館を核として、生徒・教師・学校司書・地域・市内小中学校・公共図書館が連携する取り組みを目指して一

滋賀県 湖南市立甲西北中学校

教諭 植西 亮太 学校司書 上田 由季子

1. はじめに

湖南市内の小中学校は、文部科学省の学校司書に関わる研究指定を受け、学校図書館の機能を活用した授業の開発に取り組んでいる。その際、生徒の力を最大限に高めるためには、生徒の周りにいるたくさんの人々のよさをいかすことが大切であり、その核となるのが学校図書館であると考えた。学校司書・司書教諭にとどまらず、生徒・教職員・地域・市内小中学校・公共図書館がそれぞれの良さを生かしたり機能を発揮したりして生徒の力を伸ばす「協働」を目指している。

2. リーディングセンターとしての取り組み

- (ア) 湖南市で取り組む本の帯づくり
 - ・湖南市内4中学校が一斉に行い、優秀作品を公共図書館・地域書店で展示する
- (イ) 生徒と学校司書による図書館コーナーづくり
 - ・新着本、話題の本のコーナー
 - ・生徒、図書委員のコーナー
 - ・教職員、地域ボランティアさんのコーナー
- (ウ) 学校図書館の環境づくり
 - ・地域ボランティアによる明るい図書館づくり

3. ラーニングセンターとしての取り組み

- (ア) 図書館利用の指導
 - ・国語科と学校司書による図書館オリエンテーション
 - ・「図書館大改造」の取り組みによる配架や分類番号の変更
- (イ) 学校司書と司書教諭が連携した授業「英語」
 - ・学校司書と教材づくりや授業でのサポートの仕方を検討する授業相談会の実施
 - ・学校図書館のICT機器活用を司書教諭が支援
 - ・学校図書館に学習成果物を掲示して、生徒同士が学びを共有する
- (ウ) 図書流通システムを活用した授業「数学」
 - ・湖南市図書流通システムを活用した教具準備、教材・教具の共有をめざす
- (エ) 国語科への学校図書館の学習支援
 - ・夏休みに向けて読書感想文の授業（選書支援、読書感想文の書き方、特別貸出）
 - ・ブックトーク（授業内容に関連した本の紹介）
- (オ) 学校図書館が核となる総合学習や複数教科にまたがる取り組み
 - ・学校司書による図書館情報学指導（テーマの設定の仕方や広げ方、情報のアクセスの仕方など）
 - ・新聞づくりへの支援（優秀作品をファイリングし、学校図書館の資料として保存・配架）

4. 成果と課題

- (ア) 貸出冊数の増加
 - H26年度 1,134冊（生徒：952冊、教師：182冊）
 - H27年度 2,592冊（生徒：1,972冊、教師：620冊）
- ※ 公共図書館の利用を含む
- (イ) もっと気軽に図書館の機能を利用してもらえるよう、図書館だよりの発行や授業公開を行い、図書館を活用した授業のイメージを持ってもらう必要がある



⑤ 図書館だよりを活用しての

読書指導

—いつでも どこでも

だれでも 読書指導—

大阪府 大阪市立長池小学校

森田 春美

大阪市立三軒家西小学校

里 恵梨

1. はじめに

読書の重要性は、近年特に強調されている。しかし、多様な校務の中、読書指導や学び方の指導にまで手がまわらず、取り組むことができないことが多い。そこで、定期的に発行する図書館だよりを活用することで、読書指導や学び方の指導が、いつでも、どこでも、だれでもできるようにしたいと考えた。図書館だよりに作成のポイントや実践事例を報告する。

2. 学校図書館年間計画の作成

図書館運営を進める上で重要なものは、学校図書館年間計画である。その中の年間指導計画（月別）に基づき読書指導と学び方の指導を進める。

3. 図書館だよりを活用しての読書指導

年間指導計画をもとにした、図書館だよりの事例を紹介する。読書計画の立て方や読書ノートの使い方、感想文・本の帯・感想画のかき方、幅広い読書への誘いなどをテーマにした図書館だよりを発行し、学び方の指導と結びつけた読書指導をすすめる。

4. 読書指導の実践事例

1年生の読書感想文の書き方のワークショップを実施する。「新しい国語1年（東京書籍）」の教材「読書の部屋」を用い、表紙や気に入った場面について想像をふくらませ読書感想文の指導をする。

5. その他の取り組みとして

- ・委員会活動
- ・図書館支援ボランティア
- ・その他

第1 分科会

読書意欲を高め、読書力を育もう

リーディング・センター



学校図書館を活性化する

ー自己肯定感と

自己表現力を育てるー

兵庫県 兵庫県立加古川北高等学校
(前任校 西脇北高等学校)
教諭 岩本 麻衣子

1. 目標

読書を通して読解力や思考力を身につけ、考えを発表できる生徒を育成する。また、図書館で収集した情報を活用する能力を育成する。

2. 総合的な学習センターとしての図書館の取り組み

- (1) 「北高100選」の選定
- (2) 「ブックトーク」の実施
- (3) 「調べ学習による研究発表」
- (4) 「レファレンス大会」の実施
- (5) 「ビブリオバトル」の実施
- (6) 「読み聞かせ・朗読劇」の実演
- (7) 「ブックカフェ」の開催
- (8) 「吹奏学部による図書館ミニコンサート」の実施

3. 成果と課題

「北高100選」は教師の推薦図書と「ブックトーク」で生徒が紹介した本で編集した。「レファレンス大会」や「ブックカフェ」、「読み聞かせ・朗読劇」、「吹奏楽部による図書館ミニコンサート」等の催しを図書館活動として実施することで、図書館が生徒や教職員にとって親しみやすく、生徒の活動をバックアップする空間となった。近隣の大学院生に学習支援ボランティアとして協力を得た「ブックカフェ」では、読書、学習、進路について生徒が大学院生と対話する姿が見られ、図書館が知的交流の場となり、生徒の精神的な成長を促した。以上の取り組みの結果、図書館の年間貸出冊数が10冊未満から400冊以上に伸びた。(全校生徒250名)

また、地域と連携した図書館活動は、「読み聞かせ」(幼稚園との連携)、「朗読劇」(地域ボランティアと協働した地域図書館の活動に参加)、「ブックカフェ」等の活動を通して、生徒は成長した。生徒の自主活動(企画・実施・反省)を設定することが生徒の成長を促進した。



読みたい! 伝えたい!

~ ICT を活用した

Aくんの読書法~

奈良県 奈良県立明日香養護学校
教諭 村瀬 直樹

1. はじめに

高等部(当時)のAくんは、プロレス週刊誌を読むことが好きである。しかし、知的障害や肢体不自由、構音障害、中度難聴が原因で読むことに様々な制約があり、内容理解が難しかった。

そこで、ICTを利用し、内容理解しながら読む方法を探ることにした。

2. 内容・方法

パソコンとタブレットPCを利用し、電子書籍を様々なソフトで読み上げさせ、操作性や理解度を確認しながら良い方法を探った。そのとき、時間にゆとりをもたせ、Aくんのペースで考え判断し、行動できるような環境を整えた。

3. 結果と考察

今回の学習でAくんは、文字を見ながら音声読み上げを聞く方法が自分にあっていると理解できた。パソコンを利用し、マルチメディアデジターで読む方法が最適だとわかったが、読みたい本がない。そこで、スマートホンの音声読み上げを利用して、雑誌を読む方法を考え出した。それが自信になり、自己肯定感が上がり、積極的に学校行事に参加するようになった。

面白いと感じた内容を音声読み上げで周りの人に聞かせたり、Eメールで送信したりして、自ら情報を発信し、様々な人と共有するようになった。発信する機会が増えたので、メールの表現方法や内容が豊かになった。また、自分の気持ちを共有できる機会が増えたので、安定した気持ちで生活を送るようになった。

2016年の春に高等部を卒業したが、このスマートホンで読んで発信する一連の活動は、現在も続いている。

以上のことから、Aくんにとって、ICTを活用した読書とは、内容を理解するだけでなく、その内容を発信し、共有することを含む生活上の重要な活動であり、それがAくんの成長を促したと考えられる。

学ぶ

- 調べ学習・探究学習
- アクティブ・ラーニングへの支援
- 情報・学習スキルの習得
- NIEの促進
- 校内研修の企画・運営
- 司書教諭や学校司書と教員が連携した学習支援活動
- 情報リテラシーを育むための支援（図書館・情報活用指導、著作権）



① 小 「はがき新聞」を活用した本の紹介活動（演習）

大阪府 堺市立新浅香山小学校

校長 徳永 加代

1. はじめに

「人を通して本と出会う」体験が、本の世界を豊かに広げ、読書の楽しさを伝えてくれると考え「はがき新聞」を活用した本の紹介活動を全学年において行っている。図書委員会活動としても取り組んでいる。

「はがき新聞」は限られたスペースに、必要なことを書く力（表現力）、伝えたい事柄の中で重要なことを選ぶ力（判断力）、究極の要約ともいえる見出しを考える力（思考力）をつけることができる。

2. 「小学校学習指導要領国語」における読書指導に関する言語活動例

〔第1学年及び第2学年〕

読んだ本について、好きなところを紹介すること。

〔第3学年及び第4学年〕

紹介したい本を取り上げて説明すること。

〔第5学年及び第6学年〕

本を読んで推薦の文章を書くこと

3. おすすめの本を「はがき新聞」に書く

「はがき新聞」には、本の題名、作者の名前、主題を一文で表したキャッチコピー（見出し）、おすすめの場面の紹介などを書かせた。紹介する相手を意識して本を選び、おすすめポイントには、印象に残った言葉や場面など、本文を引用するように指導した。

4. 「はがき新聞」を活用して読書の幅を広げる

読書の幅を広げることをねらいとして、「はがき新聞」とその本を職員室前の廊下や学校図書館に期間を決めて展示している。展示の終わった「はがき新聞」は本の表紙裏に貼っておき、おすすめの言葉がいつでも読めるようにしている。読んでみたくなった本の「はがき新聞」の裏にシールを貼ったり、「はがき新聞」を読んでその本を読んだ感想をカードに書いたり、学年を超えた本の紹介活動となっている。

第2 分科会

主体的・協働的な学び方を探ろう

ラーニング・センター



② 学校図書館の活用推進を 目指した取組 ～各教科等における授業を 展開していくために～

京都府 京都市立唐橋小学校
教諭 山科 隆

1. はじめに

子どもたちが自ら情報を収集、選択、活用し、生涯にわたって主体的に学び続けるためには、課題解決に必要な力を系統的に身に付けていくことが重要です。そのためにも、各教科等において学習・情報センターとしての学校図書館の機能を活用し、情報活用能力を身に付けることが求められています。本校では、平成27年度より情報教育を研究の柱とし、各教科等において学校図書館を活用することで情報活用能力の育成を目指しています。情報を読み、情報を活用して学ぶための学校図書館の活用に焦点を当てた、研究1年目の具体的な取組をご紹介します。

2. 学校図書館活用推進を目指した具体的な取組

(1) 学校図書館環境の整備

本校では、学校図書館でいつでもだれでも授業が行えることを目指し、掲示物や情報カードの配置、ICT機器の設置など「学習・情報センター」としての学校図書館環境を整備しました。

(2) 公共図書館との連携とブックリストの作成

各教科等で学校図書館を活用し、教科のねらいを達成するためには、ねらいにふさわしい図書資料を準備することが不可欠です。そのために、京都市の公共図書館と連携したり、教科単元ごとのブックリストを作成・活用したりしました。

(3) 学校図書館活用計画の作成

どの教科のどの単元で学校図書館を活用することができるのか、教職員が共通理解し次の学年へつなげていくために「唐橋小学校 学校図書館活用計画」を作成しました。

3. 情報活用能力を育成する授業実践事例

①第6学年 算数科

－著作権を尊重し、出典を記す－

②第4学年 理科－情報を整理・分析する－

③第2学年 生活科－目次や索引を利用する－

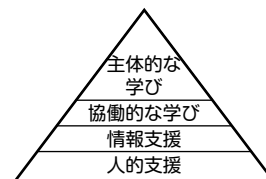


③ 「学校図書館からアクティブ・ ラーニングをすすめよう」

奈良県 香芝市立真美ヶ丘東小学校
教諭 西浦富美子…1 三木 毅士…2
五條市立牧野小学校 教諭 田中 千鶴…3

はじめに

学校図書館からアクティブ・ラーニングを「勧める」「進める」取組です。21世紀型能力を養うために、探究的な学びを支援する方法を考えました。国語や総合的な学習の実践例とその学習を通して培った言語力・対話力・情報活用力等について報告します。2校の取組を元に各校の実践を交流し合い、学校図書館の「学習センター」機能を高めましょう。



1. アクティブ・ラーニングを支える基盤作り

- (1) 地域支援本部事業等→人的・情報支援に
- (2) 読書コミュニティ→主体的・協働的な学びへ

2. 国語科・校内授業研究実践事例(3・5年生)

「三年峠」「わらぐつの中の神様」のブッククラブシーケンスチャートやキャラクターマップは、主体的な学びの姿の「見える化」

3. 主体的・協働的な授業をデザインする

- (1) 読書活動活性化事業モデル校の取組
- (2) 学校図書館司書・図書支援員・図書支援ボランティアとの協働で実現できたこと
- (3) 総合的な学習の時間の実践事例(6年生)

『「ヒロシマ」の思いをみんなへ』

～わたしたちが伝えたいこと～

学習者が自ら「問い」を発見したり、「問い」を理解したりする学習過程を大切にしたい探求学習

おわりに

探究的な学びや課題解決型学習のデザインは容易ではありませんが、今後ますます重要です。ラーニング・コモンズの有り方を探っていきましょう。

第2 分科会

主体的・協働的な学び方を探ろう

ラーニング・センター



④ 全 ビブリオバトルの再構築と 学校図書館の利用

福井県 敦賀市立松陵中学校 教諭 奥村 耕二

1. はじめに

今の中学生は勉強や部活動で忙しく、積極的に読書活動に取り組む生徒が減少しつつあると感じる。実際、2014年度に実施した校内調査によると、一年間に一度も学校図書館を利用したことがない生徒が半数以上であった。

そこで、読書活動の推進と共に学校図書館利用者の増加を目的に、近年注目されているビブリオバトルに取り組もうと考えた。ただし公式ルールでは対応できない点や不足している点があると考えられたため、実態にあったものを生徒と共に考え、ビブリオバトルの再構築に取り組んだ。

2. 具体的な取組

(1) 再構築に向けての進捗状況

準備期：ビブリオバトルの紹介、実施
自己評価シートの検討 など

第1次完成期：自己評価シートの完成
発表、マナーの向上 など

第1次発展期：質問タイム指導についての検
討発表準備シートの再検討 など

第2次完成期：ビブリオバトルの取組と図書
館利用者の相関関係の調査・分
析

第2次発展期：委員会活動を通じた「全校ビブ
リオバトル」の開催についての
検討・計画

(2) 学校図書館の広報活動による読書活動の推進

(3) ビブリオバトルを利用した読書活動の習慣化

3. 成果と課題

学校図書館利用者の増加はもちろんのこと本の貸し出し数も増加した。また何より生徒が読書をしている姿が多く見られるようになった。ビブリオバトルを自分たちの手で作り上げていくことに興味を持ち積極的に取り組む姿や、よりよい本の紹介ができるよう事前準備に熱心に取り組む姿が見られた。一方、プレゼンテーション能力や自己評価方法にまだまだ改善の余地がある。今後も生徒と共に本校の実態にあったものになるよう検討していきたい。



⑤ 中高 主体的な学びと学校図書館 ～それぞれの需要と発展～

奈良県 私立奈良育英中学校・高等学校
教諭 細川 恵利 学校司書 村上 祐子

概要

本校は2012年度より言語教育の一環として「言語技術」をカリキュラムに導入した。この教科は、三森ゆりか氏が主宰するつくば言語技術教育研究所で教員研修を修了した者が指導をし、また同研究所が発刊するテキストを中心に授業を展開している。授業はいわゆる「アクティブ・ラーニング」のスタイルである。本大会での実践発表は、高大連携Sコースにおける論文作成に焦点をあて、主体的な学びと学校図書館の相互作用について明るみになってきた実態を報告する。

●主体的な学びに関する本校の取り組み

本校における「言語技術」では、論理的な思考力と表現力を育むためのシラバスとなっている。高校3年時には、パラグラフ・ライティングのスキルを向上させ、最終的に生徒自らが設定したテーマで書くエッセイ（論文）の提出を求めている。

●主体的な学びを保障する学校図書館と学校司書の役割

上記の授業は主に学校図書館で実施される。主体的な学びを実践していく上で、生徒が自らの課題を発見し探求を続けていくためには、資料提供は図書館の最も重要な役割である。クラス単位で、また複数のクラスが同時にこの方法で授業を展開するため、選書やレファレンスはこれまでよりも時間と手間が掛かる。しかし、学ぶ主体が資料を選ぶことにより、蔵書構築に変化がみられるようになった。そして、図書館の利用状況もまたしかりである。主体的な学びを保障する図書館を運営するためには、学校司書の存在とその役割は大きい。ICT 機器を含む図書館内の環境整備も見直さなければならず、学校司書の専門的で技術的な職務はより広がりを増す。今後、主体的な学びに学校がシフトしていくのならば、図書館と司書の役割について見直しが急務となる。

第2 分科会

主体的・協働的な学び方を探ろう

ラーニング・センター



⑥ 高 司書とコラボのゼミナール ～図書館の機能を生かす

アクティブラーニング～

奈良県 奈良県立奈良高等学校
常勤講師 野村 恵子

1 はじめに

私が初めて図書館でゼミナール形式の授業をしたのは今から15年ほど前のことである。生徒の現状と育成すべき能力の大きなギャップに、途方に暮れていた時であった。図書館での授業を計画した経緯、目標としたもの、主題設定の理由などについて述べる。

2 準備と事前指導

指導者が使う労力を教授型の授業に比べると、特に準備段階にその比重が大きい。生徒に提供する資料の他に、生徒を動かすための仕掛けが随所に必要だからである。

司書との打ち合わせから役割分担・資料の準備・プリントの工夫・研究ノート・司書のオリエンテーションなどについて述べたい。

3 授業の実際

授業中の生徒の活動を紹介したい。学習計画・目標と課題の設定・生徒の研究・意見交換・研究発表まで、順を追って説明する。また途中でのアクシデントや計画の変更などについても述べる。授業の際の司書と生徒の関わりとその効能も説明したい。

4 考察と課題

授業を振り返り、生徒の成長と指導者がつかんだもの、図書館での「学び」が育成したものを明らかにしたい。文献という豊富な資料と、司書とのコラボレーション。図書館におけるアクティブラーニングでなければ達成できなかったことを伝えたい。

5 おわりに

これまでに自身が図書館で行ったアクティブラーニングをまとめ、振り返ることで生徒の学年や学力に応じた授業の応用方法を考察したい。生徒の持つ力を最大限に生かし、伸ばす方法を模索したいと考えている。



⑦ 全 記紀・万葉の楽しみかた

奈良県 奈良県立万葉文化館
指導研究員 井上 さやか

【万葉文化館とは】

奈良県立万葉文化館は、万葉のふるさと・奈良にふさわしい『万葉集』を中心とした古代文化に関する総合文化拠点として、平成13年9月に開館した。国内外から多くの人たちが訪れ、楽しみ、学ぶことのできる機能と魅力を備えている。日本の古代文化に関する調査・研究機能、万葉文化の振興を図る展示機能、万葉集に関する情報の収集提供を行う図書・情報サービス機能を併せ持ち、事前の発掘調査で明らかにされた飛鳥池工房遺跡についても保存に努めるとともに、復原展示等で文化財を創造的に活用することにより、遺跡と共存する施設をめざしている。

【「万葉ことばあそび」の概要】

万葉文化館では、古代文化に関する常設展示だけでなく、毎年6催の美術展示、毎月2～3回の各種講演会、学校休日に合わせたイベントや体験学習等も実施している。ここでは、「こども万葉教室」の一環として実施した「万葉ことばあそび」の報告をとおして、記紀・万葉の楽しみ方について提案したい。

「万葉ことばあそび」では、館内を見学した後に『万葉集』および「万葉仮名」について概説し、画用紙や木簡に万葉仮名で好きな言葉を書いてもらった。その際、習字とは異なりデザイン画風に描くことも推奨した。たとえば、漢字の成り立ちがわかる辞典を参考にしつつ絵文字として描くなど、自由に工夫してもらった。

【記紀・万葉の基礎知識と楽しみかた】

記紀・万葉（『古事記』『日本書紀』『万葉集』）についての基礎知識も、具体例を参照しながら補足しておきたい。

たとえば、『古事記』等にも使用されている「万葉仮名」は、ひらがなやカタカナがまだなかった時代の日本語の表記方法の一つであり、クイズ感覚で楽しめる。また、記紀・万葉に登場する地名が自分たちの生活圏内にあることを知ると、古代を身近に感じることもできる。

講師が面白いと思って話すことは、こどもも反応を示すと実感している。まず大人たちが知ることを楽しみ、その熱量をこどもたちに伝えていければ、と思う。

創る

- 学校図書館メディアの活用
- キャリア教育の推進
- 読書感想文・読書感想画の取組
- コミュニティの形成（人や情報との出会い、共有の場を創る）
- 創造的な学校図書館活動（図書委員会活動など）
- 知的好奇心の喚起（図書館PR・提供の工夫・支援など）
- 司書教諭と学校司書が連携した新たな学校図書館の創造



① 「紙芝居を楽しもう！」

一人と本をつなぎ、人と人が
笑顔でつながる紙芝居の世界—

奈良県 桜井市立桜井南小学校

教諭 畑中 廣之

大和郡山市立郡山南小学校

教諭 松本 隆行

1. はじめに

紙芝居は日本発祥の文化です。演者と観客が心を通い合わせ、共に作り上げる演劇でもあります。私たちは、紙芝居を教育の場に進んで取り入れ、子どもたちと笑顔でつながりながら、なかまと集う居場所づくりを目指し、小学校・幼稚園・児童館・公民館・お祭りの縁日などで実演してきました。

本分散会では、まず紙芝居の実演を楽しんでいただきます。そして、紙芝居の持つ特性を明らかにして、読書への水先案内の役割をはじめとして、幅広く授業に活用する方法を紹介します。

2. 街頭紙芝居の実演と紹介

- (1) 「チョンちゃん」2題（畑中・松本）
- (2) 「お楽しみクイズ」（松本・畑中）
- (3) 「物語」2題（畑中・松本）
- (4) 街頭紙芝居概論（松本）

昭和20年代から30年代にかけて一世を風靡した街頭紙芝居。日本で唯一、紙芝居の絵元として今も残る塩崎お伽紙芝居博物館所蔵の当時使用されていた全て手描きの原画による「ほんまもんの街頭紙芝居」を小学校教員として実演資格を持つ二人が演じます。

3. 紙芝居と教育

- (1) 紙芝居を使った授業（畑中・松本）
- (2) 手作り紙芝居実演（畑中）

紙芝居をどのように教育に活用するのか、国語・算数・社会・英語活動・福祉・道徳などの授業実践事例を通して具体的に紹介します。

4. 紙芝居と未来

- (1) 図書館における紙芝居活動を通して（松本・畑中）
- (2) 紙芝居Q & A（松本・畑中）

紙芝居と読書の関わり方を明らかにして、これからの図書館教育とのつながりを考えます。また、紙芝居を楽しむために講座参加者と情報を交流します。

第3 分科会

情報を活用した新たな「知」を創り出そう

クリエイティブ・センター



② 小高
子どもと本とつなぐ学校図書館
～子どもとともにつくる

図書館環境～

滋賀県 蒲生郡日野町立南比都佐小学校
教諭 小林 由美子
大津市立木戸小学校
教諭 中瀬 清子

1. はじめに

滋賀県小学校教育研究会学校図書館部会の図書館経営部会では、「子どもと本をつなぐ学校図書館」をテーマにボランティアや公立図書館との連携、図書館の環境作りについて実践してきました。ここ数年は、子どもたちが行きたくなる図書館の環境作りを中心に各校の実態に応じて実践を積み、それらを交流し、さらに自校の図書館環境作りに生かしてきました。毎日忙しく、なかなか関わる時間がない中で、ひとつでもヒントになるようなものがあれば幸いです。

2. 図書館環境作りの実践

- (1) 子どもたちが行きたくなる図書館掲示
 - ・入口の掲示(詩の掲示やかわいい絵など)
- (2) 子どもたちをさそう図書館掲示
 - ・季節感あふれる掲示
 - ・テーマ別のコーナー
- (3) 居心地のよい図書館環境
 - ・配架の工夫(地図をおいたり、表示の案内板)
 - ・リラックススペース
- (4) 委員会の活性化
 - ・委員会のお薦めの本の紹介
 - ・イベント活動
- (5) 地域の図書館をイメージして
 - ・梅雨の時期の工夫(DVD鑑賞会など)
 - ・公立図書館との連携

3. 成果と課題

実践してみでの成果や課題についてお話しします。

4. 実践してみよう

実際に図書館掲示に使える簡単な飾りを皆さんと一緒に作り、作った掲示物は、持って帰っていただきます。ぜひ、図書委員会の子どもたちと一緒に作ってみてください。子どもたちが行きたくなる図書室を子どもたちと一緒に作っていきましょう。



③ やってみよう

ビブリオバトル 実践

奈良県 学校図書館研究会 中学校部会

1 はじめに

知的書評合戦と言われる「ビブリオバトル」には、『本を読む、自分の考えをまとめる、言葉や表情でその思いを伝える、質問を通じて参加者と意見の交流を行い、参加者は自分の意思決定を行う』など多岐にわたる力とゲーム性のワクワク感が魅力です。見ると聞くとは大違いですので、まずは気楽に体験してみましょう。

2 実践

①ビブリオバトルの説明

【公式ルール】より

1. 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
2. 順番に一人5分間で本を紹介する。
3. それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う。
4. 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

②5人グループによる予選会の実施

(それぞれでチャンプ本を決定)

③本戦の実施(チャンプ本決定)

3 まとめ

体験の感想やビブリオバトルに関する意見の交流を行う

第3 分科会

情報を活用した新たな「知」を創り出そう

クリエイティブ・センター



④ 中 「隙間のチャンスを活かして、
一歩前へ」

～「アクティブ・ラーニング」を
視野に～

京都府 宇治市立西宇治中学校
教諭 伊藤 恵

1. はじめに

西宇治中学校「図書館教育部」
（「西宇治中学校図書館」）

- ・宇治市、京都府「中学校図書館教育部」
- ・子どもの読書活動推進関係の施策
宇治市 山城教育局 京都府 国

2. 「知」を創り出すために

- (1) 設備面の課題
 - ・学校図書館、資料（図書、図書以外）
 - ・「隙間のチャンス」を見出す観点
 - ・「一歩前へ」の具体例、実践例紹介
- (2) 運営上の課題
 - ・組織構造、方針・計画、委員会指導 等
 - ・「隙間のチャンス」を見出す場面
 - ・「一歩前へ」の具体例、実践例紹介
- (3) 協働の課題
 - ・研修会、図書館行事、ボランティア 等
 - ・「隙間のチャンス」を見出す協力者
 - ・「一歩前へ」の具体例、実践例紹介
- (4) その他、種々諸々の課題
 - ・教科・領域における読書指導、司書教諭
と学校司書・公共図書館連携、等々
 - ・「隙間のチャンス」を見出すタイミング
 - ・「一歩前へ」の具体例、実践例紹介

3. まとめ

- (1) 「隙間」を見つける、活かす
 - ・現状のデータ化、可視化
分析→考察→立案→提案→検討…
 - ・明確な方向性と具体的な「動き」
「手応え」の積み重ね
- (2) 「一歩前へ」で見えてくる
 - ・「アクティブ・ラーニング」
 - ・「クリエイティブ・センター」
 - ・「コミュニティー」



⑤ 高 大阪府高等学校図書館研究会
における ITC 活用

大阪府 大阪府高等学校図書館研究会 顧問
情報システム委員会 委員長
大阪府学校図書館協議会 参与
富田 忍

1. はじめに

大阪府高等学校図書館研究会（以下、高図研と略称）の活動を、様々な制約の中で効率的かつ広域的にするために、現在までの ITC 活用を進めてきた経緯の説明と、今後の課題を述べる。

2. 大阪府立高校での学校図書館の情報センター化の経緯

- (1) 「大阪府学校情報ネットワーク」と第1次蔵書管理システム
- (2) 大阪府学校情報ネットワークの更新に伴う改善要望
- (3) 第2次蔵書管理システム（府立学校図書システム）への移行
- (4) 来年度の更新に向けての取り組み
- (5) 成果と課題

参考資料 『学校図書館へのコンピュータ導入』
全国 SLA 1990年
高図研 HP の<図書館と IT >
http://ohs-lib.org/?page_id=25

3. 大阪府高等学校図書館研究会の HP 活用

Wordpress を利用した HP の作成と運用の紹介
高図研 HP の URL <http://ohs-lib.org/>

4. 高図研情報交流サイト～Ponte～とは？

http://ohs-lib.org/?page_id=436
地区会活動と高図研 SNS の利用

5. 会員名簿システムの活用

会員名簿の web 登録とそれを活用した情報配信などの紹介

6. 役員間の情報共有システムの活用

メーリングリストと併用した Owncloud の活用
（web での情報共有と会議システム）

第3 分科会

情報を活用した新たな「知」を創り出そう

クリエイティブ・センター



⑥ 求められる本、魅力ある本を
届けるために

奈良県 奈良県高等学校図書館研究会
学校司書部会 選書班
奈良女子大学附属中等教育学校
学校司書 向井 美穂
榛生昇陽高等学校 学校司書 服部 倫子
天理高等学校 学校司書 水野 三千

1. はじめに

生徒にとって、また教職員にとって有用かつ魅力的な図書をいかに収集するかという目的で始めた研修です。新しく購入するための図書の情報交換、すでにある蔵書をもっと活用してもらうにはどんな仕掛けが有効かを共に考える、という取り組みに私たち選書班は力を注いでいます。

2. 選書班の成り立ちと活動内容の紹介

- (1) 選書班の成り立ち、歴史の説明
- (2) 受入図書の情報交換
- (3) 読書ナビ
- (4) 飾るブックトークとその実演

3. 参加者とともに実践

- (1) 参加者がグループに分かれて飾るブックトークを作成
- (2) グループごとに発表

4. まとめ

全体を通しての感想や、意見の交換。



⑦ 共に学び、共に育つ
～気になる子どもの支援が
みんなのものに～

奈良県 奈良県教育委員会事務局
学校教育課 特別支援教育係
指導主事 大谷 啓之

1. はじめに

文部科学省の調査によると、発達障害の可能性のある特別な教育的支援が必要な児童生徒が、小・中学校の通常の学級で6.5%程度の割合で学んでいます。特別な教育の場で学ぶ子どもだけでなく、共生社会の形成に向けて、障害のある子どもも障害のない子どももできる限り同じ場で共に学ぶことを目指すとともに、それぞれの子どもが、授業内容が分かり学習活動に参加している実感・達成感を持ちながら、生きる力を身に付けていけるように環境整備が必要です。

2. 気になる子どもの困難さの理解

学校図書館が果たす役割として、学習・情報センター、読書センターが挙げられますが、障害のある子どもにとっても同じです。しかし、障害のある子どもは、読書に対して困難を伴うことが多いと言えます。読書の困難さを補う支援がとても大きな意味をもちます。

3. 何のために配慮をするのか

障害のある子どもへの特別な教育的支援を検討する際の大切な視点は、一人一人の気になる姿や困難さの原因を理解し、個別に必要な配慮や支援を検討することです。例えば、読むことが苦手といっても、その原因は様々です。そのための配慮の在り方もそれぞれ違ってきます。

4. 誰もが“分かりやすい”、“使いやすい”ように

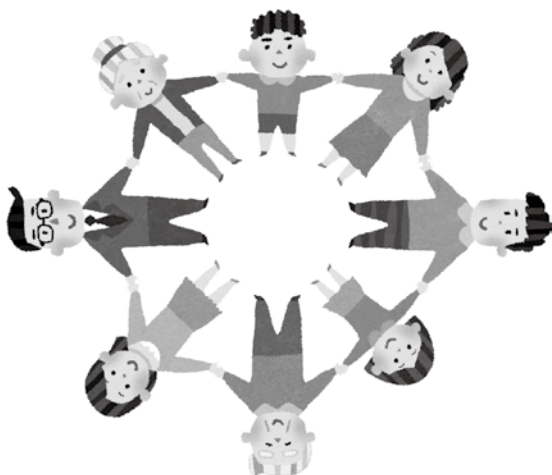
ある一人の子どもへの配慮が、他の子どもにとっても学びやすさとなっていきます。また、様々な選択肢が増えることで、子ども自身が自分にとってよりよい方法を選び取り、活用する力を育てることにもつながっていきます。学校図書館を、障害のある子どもも含め、多様な子どもが活用しやすいように充実していくという視点が大切であると考えています。

5. まとめ

特別な教育的支援を必要とする子どもは、障害のある子どもだけではありません。学校は、様々な配慮を必要とする多様な子どもの集団です。多様性を包摂する学校図書館の在り方について、考えていきましょう。

支える

- 子どもたちの「読む」「学ぶ」「創る」を支える
- 居心地のよい空間の提供
- 家読（うちどく）のすすめ
- 学校図書館を核としたまちライブラリー化
- 公共図書館・地域施設との連携
- 学校図書館ボランティアとの連携
- 教員・司書教諭・学校司書がともに支え合う学校図書館



① 小 子どもたちの育ちをささえる
学校図書館

—自ら利用できる児童を

育てるために—

福井県 福井市明新小学校

教諭 千田 祥子

1. はじめに

学校図書館は、読書センターと学習・情報センターとしての機能を持っている。そのため、学校図書館には、子どもたちの豊かな心を育む場として、また子どもたちが自ら学ぶ場としての役割が期待されている。

しかし、近年子どもたちの家庭での時間の過ごし方は、テレビゲームやスマホゲームなど、映像を介した娯楽が大半を占めている。それらは子どもたちにとって大変魅力的で、かつ、身近なものとなっているのが現状である。それに比べ、読書は、根気よく文字を読み進めなくてはおもしろさが分からない。活字離れの進む子どもたちに、読書習慣を身につけさせることは、大きな課題である。しかし、一人で読むことが苦手な子も、読み聞かせをしてもらうことは好きだったり、その本のおもしろさを知ると自ら手にとって読んでみたりする。本来子どもたちは本との出会いのきっかけさえあれば、読書をするようになるのではないだろうか。

学校図書館の大きな役割の一つに、利用指導がある。図書館の使い方を指導し、利用する力を子どもたちにつけることで、本と子どもたちの距離をより近くしていきたい。そのために、授業で図書資料を活用することを通して進める利用指導の工夫、読書を利用しやすくするための環境整備、学校図書支援員や町立図書館との連携など、魅力ある学校図書館をめざし、様々なことに取り組んできた。

2. 授業での取組

(1) 第1学年での取組み

(2) 第2学年での取組み

3. 環境整備

(1) 「図書室にある調べ学習の本」リスト

(2) 図書室の配架地図作り

(3) 学習で使う書架について

(4) 展示とおすすめの本

4. 学校図書館支援員との連携

(1) 教科書関連図書の紹介

(2) 図書便り

(3) ブックトーク

5. 町立図書館との連携

第4 分科会

学校・家庭・地域の連携を深めよう

学校図書館ネットワーク・センター



② 子どもの読書意欲を喚起する 取り組みの工夫

～学校図書館ボランティアと連携して～

和歌山県 海南市立巽小学校
教諭 中西 優未

1. はじめに

小学生には、与えられた本を読むのではなく自ら本に手を伸ばす習慣を身につけさせたい。ところが、現状は、幼児期からの読書習慣の未形成な現状や様々な情報メディアの発達・普及など、子どもの生活環境の変容による読書離れの傾向が否めない。

そんな小学生たちにとって、学校図書館がより機能的で、魅力のある場となれば、それぞれの読書意欲も喚起され、自ら本に手が伸び、読書を楽しむ人として成長できるのではないだろうか。

本校では、そんな思いを学校と地域が共有し、小学生の読書環境を整える取り組みを続けている。

2. 図書館を創る

本校を取り巻く地域の活動として、「巽地区共有コミュニティ」があり、その活動の一つとして、「学校図書館ボランティア」の活動がある。具体的には、次のような活動が展開されている。

- (1) 本の修繕・整理（毎火曜）
- (2) 図書室のデータベース化
- (3) 読み聞かせ・語り活動（月1回・週1回）
- (4) 放課後ライブラリー（毎水曜）
- (5) 図書ボランティアと学校との連携
- (6) 図書ボランティアと学校司書との連携

3. 図書館を活用する

このような学校図書館が実現し、学校では、教育活動の中で学校図書館をうまく活用し、学習センターとして、あるいは、読書センターとしての機能を十分持たせている。

- (1) 図書委員会の取り組み
- (2) 学習活動での取り組み
- (3) 読破手帳

4. 図書館から家庭へ

上記の取り組みを進める一方で、児童会による「ネット宣言」や家庭への啓発活動などにより、読書時間を確保し、読書を誘う指導・支援を行ってきた。今後も、読書が家庭生活の一場面に定着することを願っている。



③ やってみよう ビブリオバトル ～生駒市大会開催までの歩み～

奈良県 生駒南中学校 教諭 杉田 幹子
上中学校 教諭 寺田 澄子

1 はじめに

生駒市の中学校は公共図書館との連携を密に取りながら、読書活動の推進に日々取り組んでいます。今回、生駒市の全中学生対象の第1回ビブリオバトル大会を開催しましたので、それまでの過程や大会の様子について報告します。

2 ビブリオバトル大会に向けて

- (1) 生駒市図書館からビブリオバトル大会を開催したいという提案を受けて、生駒市図書館部会（中学校図書担当教師の研究会）が主体となって、どのように活動したか。
- (2) 生駒南中学校は、大会に向けてどのように生徒の意識を高めて、バトラー選出を行ったか。
- (3) 上中学校は大会に向けてどのように取り組み、バトラー選出を行ったか。
- (4) 市内のそのほかの中学校の取り組みの概要。

3 第1回生駒市ビブリオバトル大会の報告

当日どのような流れで大会を行い、生徒の様子はどうかであったか、また今後の課題としてどんなことがあったかなどを報告します。当日のDVDも見ていただく予定です。

4 これから

今年度の第2回大会に向けてすでに動き出していますが、第1回の課題をふまえてどのように動いているかとめまします。

第4 分科会

学校・家庭・地域の連携を深めよう

学校図書館ネットワーク・センター



④ 中 「子どもも図書館も変わる ～学校図書館補助員とともに～」

大阪府 大阪市立茨田北中学校
教諭 駒田 法子

1. はじめに

平成27年に学校図書館法が一部改正され、学校司書の配置が努力義務になりました。同年10月、大阪府は全小中学校に学校図書館補助員を配置、一人が3校担当、週1回6時間ずつ回ります。

従来、学校図書館は司書教諭や図書館主任の教員が運営していました。21年頃から元気アップボランティア（保護者、地域住民、地域の関連諸団体などが学習会や、図書館開館支援などを行う）が本の修理や装備、配架、貸出などを手伝うようになりました。さらに学校図書館補助員の配置が決まり、私は喜びと期待でいっぱいでした。

2. 東淀中学校の図書館

まず7月に学校図書館補助員コーディネーターが来て、スクールプロ（学校図書館用PCソフト）の導入、NDC順の本の配架、おはなし会の準備に協力してくれました。10月に最初のおはなし会を開催、生徒たちが絵本や紙芝居を読んでくれました。会は毎月開催され、2回目からは補助員さんも一緒に本を読みました。

12月に東淀川図書館長の計らいで、ボランティアと教員が本の修理を学ぶ講習会が開かれ、公共図書館との協力が実現されました。

3. 茨田北中学校の図書館

春から再任用で、茨田北中に勤務しています。この学校の図書館は、元気アップボランティアと公共図書館の支援で、NDC順に本が並んでいます。昼休みと放課後は毎日開館、補助員さんは毎週火曜日に来て、本の展示や修理、貸出などをしています。

私は教務の図書係になり、早速おはなし会を始めようと生徒達に声をかけました。6名の生徒が読み手を引き受けてくれました。

本番の5月7日には校長先生が来て「読み手と聞き手が物語を共有することで一体感がうまれ、改めて読み聞かせのすばらしさを感じることができた。」と評してくれました。東淀川のおはなしボランティアの人も参加、彼女の読み聞かせは中学生の目標となりました。

つくづく「絵本」はすごい、「人」がいる学校図書館、「本」によって繋がる「人」は素晴らしいと思いました。この繋がりを育て、学校図書館を育てていきたいと思います。



⑤ 高 連携によって広がる 学校図書館の可能性

～五條市立図書館との連携を中心に～

奈良県 奈良県立五條高等学校

教諭 田中 鈴子
学校司書 上東 寿美

1. はじめに

本校は、明治29年に尋常中学校五條分校として開校し、今年で創立120周年を迎える。定時制、分校を擁し、全日制課程は各学年7クラス、商業科と普通科を設置している。今回は、学校図書館のラーニング・コモンズとしての可能性を探るために、日頃の取り組みを紹介した後、市立図書館と連携しながら、図書委員会や文化部の活動及び教科の学習において生徒とともに取り組んできたことについて発表する。

2. 校内の取組の概要

- ① 図書館オリエンテーション
- ② 朝の読書・一斉読書HR
- ③ おはなし会・カルチャー講座
- ④ 図書館だより・図書館報の発行
- ⑤ 文化祭での文化部とのコラボ
- ⑥ 蔵書点検

3. 校外の取組の概要

- ① 読書感想文・読書感想画などのコンクール応募
- ② 他館との相互貸借制度の活用
- ③ 図書委員会と市立図書館との合同展示
- ④ 絵本の読み聞かせ講習会
- ⑤ 市立図書館のクリスマス会に参加
- ⑥ 一日司書体験

4. 成果と課題

市立図書館との連携をスタートさせて3年目になるが、教科との連携を深め、図書委員会や文化部の活動の活性化の一助となった。また、図書館を通じて、高校生が地域に貢献するという役割を果たす機会にもなった。今後もさまざまな連携を継続させ、生徒や教員のニーズに合わせて、学校図書館をラーニング・コモンズとして活用していく必要があると考える。

第4 分科会

学校・家庭・地域の連携を深めよう

学校図書館ネットワーク・センター



⑥ いまどきの子どもとオトナの
「よむ」とは？

— 私たちが子どもたちに
与えておきたい環境 —

奈良県 奈良県教育委員会事務局
学校教育課
学事係長 小崎 誠二

1. はじめに

人々の生活に潤いを与える読書。本来本を読むという機会は、誰かから強制的に与えられるものではなく自らが望んで作るものです。「よむ」という視点から子どもたちに与えるべき環境を考えてみましょう。

2. 人々が使う「ことば」

- (1) 「ことば」は、人々の生活にはなくてはならないものですが、私たちは「ことば」をどのように捉えて、どのように扱っているか、分析してみましょう。
- (2) 国語という教科には、「はなす」「きく」「かく」「よむ」という学習領域があります。語源と絡めながら、日本語の特徴を紐解いてみましょう。
- (3) 人々が「ことば」を生み出して「ことば」を使っているはずなのに、いつの間にか人々が「ことば」に使われてしまっているということがあります。

3. ことばのネットワーク

「よむ」という行為をキーワードにして現代社会を見てみると、私たちの普段の生活が全く違って見えてきます。ことばのネットワーク、図書館ネットワーク、人と人のネットワークについて、社会全体を俯瞰しながら、考えてみましょう。



⑦ 地域資源を使って学校図書館の
活性化を図るにはどうするか

奈良県 大和郡山市立郡山北小学校
教頭 渡辺 肇

1. はじめに

「学校は地域と共に」教育現場では日々増え続ける教育のニーズに地域の資源（リソース）を活用する方法を模索している。図書館もボランティアという狭義の人的資源だけではなく、地域の人・物・歴史を積極的に活用しなければならないと考えている。

2. 地域資源を使う

- (1) 地域の人的リソース
- (2) 地域の歴史的リソース
- (3) 地域の産業的リソース

3. 外部団体を使う

- (1) ボランティア・民間組織の活用
- (2) 企業・組合組織の活用

4. おわりに

「学校図書館は変わらなければならない。」長く学校図書館の世界に関わった者として20年前の研究と同じテーマに危機感を抱いている。あらゆる機関・団体との出会いを恐れず、取り込んでいって新しい形の図書館を創造していきたい。

分散会 担当者一覧

日	会場	分散会	校種	司会	会場(記録)	受付
8月4日(木)	2F/F	1①	小低	沖 香寿美 和歌山市立浜宮小学校	森田 敏子 大淀桜ヶ丘小学校	柳井 晶子 平群南小学校
	2F/Y1A	1②	小高	岡本 玲 神戸市立押部谷小学校	川崎 綾子 上牧小学校	
	2F/Y1B	1③	小	松本美奈子 磐園小学校	石桁 葵 忍海小学校	畦田 真央 斑鳩中学校
	2F/Y1C	1④	中	山岡 守一 長浜市立西浅井中学校	上明代千恵子 野原中学校	
	2F/演習室	1⑤	全	奥田 史子 大阪市立明治小学校	延廣 悠莉 東市小学校	浅井麻佑香 前栽小学校
	3F/Y2A	1⑥	全	龍本那津子 登美ヶ丘高等学校	水野 美和 西の京高等学校	國島実沙子 磐城小学校
	3F/演習室	1⑦	全	田中 英理子 明日香小学校	田仲佐都子 五條東中学校	
	3F/Y2B	特1	全	中谷 瞳 名柄小学校	中岡 麻子 平群北小学校	奥野真未奈 畝傍東小学校
	3F/Y2C	特2	小	畑中 廣之 桜井南小学校	平田 晶子 井戸堂小学校	
	2F/F	2①	小	五十川昌恵 堺市立東深井小学校	矢野 美紀 土庫小学校	梨原 里咲 宇智小学校
	2F/Y1A	2②	小高	柳田 典子 京都市立宇多野小学校	大東 輝子 登美ヶ丘小学校	
	2F/Y1B	2③	小	櫻井 陽子 五條小学校	森田 敏子 大淀桜ヶ丘小学校	宮司 瑠 真美ヶ丘第二小学校
	2F/Y1C	2④	全	吉田友里子 美浜町立美浜中学校	米田 明弘 菅原小学校	
	2F/演習室	2⑤	中・高	武田 章良 奈良北高等学校	杉村 敏 西和清陵高等学校	西川 裕子 高取国際高等学校
	3F/Y2A	2⑥	高	真粉 由佳里 郡山高等学校	吉田 澄江 高田商業高等学校	寺本 彩子 郡山高等学校
3F/演習室	2⑦	全	松井 利真 片桐中学校	松田 渚 生駒中学校		
8月5日(金)	2F/F	3①	小低	濱田 恵 織田小学校	鄭 典子 生駒小学校	中本 美歩 晚成小学校
	2F/Y1A	3②	小高	劔熊和歌子 野洲市立祇王小学校	松吉 悦子 陵西小学校	
	2F/Y1B	3③	中	小馬祐見子 上中学校	寺田 澄子 上中学校	櫻井 敏子 三笠中学校
	2F/Y1C	3④	中	進士 正憲 京都市立桂川中学校	英 優美 榛原中学校	
	2F/演習室	3⑤	高	樋田 道男 大谷中学校・高等学校	加野 幸宏 香芝高等学校	宮崎 薫 奈良文化高等学校
	3F/Y2A	3⑥	高	西本 直美 西和清陵高等学校	杉村 敏 西和清陵高等学校	三宅 和恵 奈良北高等学校
	3F/演習室	3⑦	全	瀧川 弘美 ろう学校	木谷 江里 奈良情報商業高等学校	
	3F/Y2B	特3	全	西浦富美子 真美ヶ丘東小学校	坂本 文美 真菅小学校	大西 博子 富雄南中学校
	3F/Y2C	特4	全	松岡 有子 高円高等学校	水野 美和 西の京高等学校	
	2F/F	4①	小	野崎 敦子 福井市立麻生津小学校	春尾 咲紀 西川第二小学校	高鳥 万支 大瀬中学校
	2F/Y1A	4②	小	藤田 直子 海南市立巽小学校	田中佑加子 高田西中学校	
	2F/Y1B	4③	中	小馬祐見子 生駒市立上中学校	寺田 澄子 生駒市立上中学校	梶本久美子 天理市立南中学校
	2F/Y1C	4④	中	中越 沙緒理 大阪市立淡路中学校	仲西 稚奈 桜井西中学校	
	2F/演習室	4⑤	高	森野 修三 西の京高等学校	大野 恭子 高田高等学校	榎田 久子 青翔高等学校
	3F/演習室	4⑥	全	片川 明弘 御所実業高等学校	越地 憲孝 法隆寺国際高等学校	中野貴世子 磯城野高等学校
3F/Y2A	4⑦	全	川本 悦子 朝和小学校	神谷 陽子 登美ヶ丘高等学校		

運営委員名簿

会長	荒木美久子	奈良市立佐保台小学校 校長	小馬祐見子	生駒市立上中学校 教諭
運営委員長	足立 有司	奈良県立高円高等学校 校長	杉田 幹子	生駒市立生駒南中学校 教諭
運営副委員長	堀部 有子	大和高田市立 高田小学校 校長	櫻井 陽子	五條市立五条小学校 教諭
運営副委員長	原井 葉子	生駒市立生駒東小学校 校長	寺田 澄子	生駒市立上中学校 教諭
運営副委員長	渡辺 肇	大和郡山市立 郡山北小学校 教頭	編集部 部長	田中英理子
事務局			副部長	水野 美和
事務局次長	谷口 隆紀	生駒市立鹿ノ台小学校 教諭		明日香村立 明日香小学校 教諭
事務局次長	松岡 有子	奈良県立高円高等学校 教諭		奈良県立 西の京高等学校 学校司書
事務局次長	松吉 悦子	大和高田市立 陵西小学校 教諭		宇陀市立室生小学校 教諭
事務局次長	松吉 悦子	香芝市立五位堂小学校 教諭		奈良県立 西和清陵高等学校 学校司書
会計 総務部	磯田 雅子	香芝市立五位堂小学校 教諭		谷川貴代美
部長	海老 毅	大和郡山市立 片桐中学校 教諭		葛城市立 白鳳中学校 教諭
副部長	窪西由紀子	奈良県立 高円高等学校 学校司書	受付案内 部長	永持 淳子
	前田 裕子	香芝市立三和小学校 教諭	副部長	榊 京子
	西川 裕子	奈良県立 高取国際高等学校 学校司書		大和郡山市立 筒井小学校 教諭
	生駒 香織	大和高田市立 磐園小学校 教諭		神谷 陽子
	篠原 嶺	生駒市立光明中学校 教諭		奈良県立 登美ヶ丘高等学校 学校司書
研究部			会場部	榊原 敏子
部長	西浦富美子	香芝市立 真美ヶ丘東小学校 教諭	部長	森野 修三
副部長	松井 功	生駒市立生駒台小学校 教諭	副部長	川本 悦子
				西山 卓
				奈良県立西の京高等学校 天理市立朝和小学校 教諭 香芝市立志都美小学校 教諭

実行委員名簿

小学校

大東 輝子	奈良市立登美ヶ丘小学校	恒岡 夕貴	奈良市立富雄北小学校
延廣 悠莉	奈良市立東市小学校	鄭 典子	生駒市立生駒小学校
平野 愛加	生駒市立生駒小学校	柳井 晶子	平群町市立平群南小学校
中岡 麻子	平群町立平群北小学校	川崎 綾子	上牧町立上牧小学校
仲村 明子	大和郡山市立矢田南小学校	北尾 淳子	大和郡山市立矢田南小学校
中村 真緒	大和郡山市立郡山北小学校	宮司 瑤	広陵町立真美ヶ丘第二小学校
平田 晶子	天理市立井戸堂小学校	浅井麻佑香	天理市立前栽小学校
阪本 さやか	香芝市立三和小学校	松本美奈子	大和高田市立磐園小学校
弓場 晴美	大和高田市立浮孔小学校	米田 明弘	大和高田市立菅原小学校
矢野 美紀	大和高田市立土庫小学校	濱田 恵	桜井市立織田小学校
畑中 廣之	桜井市立桜井南小学校	石桁 葵	葛城市立忍海小学校
國島 実沙子	葛城市立磐城小学校	奥野真未奈	橿原市立畝傍東小学校
山本 華菜子	橿原市立畝傍東小学校	中本 美歩	橿原市立晚成小学校
坂本 文美	橿原市立真菅小学校	中谷 瞳	御所市立名柄小学校
森田 敏子	大淀町立大淀桜ヶ丘小学校	田中 千鶴	五條市立牧野小学校
梨原 里咲	五條市立宇智小学校		

中学校

櫻井 敏子	奈良市立三笠中学校	大西 博子	奈良市立富雄南中学校
松田 渚	生駒市立生駒中学校	高鳥 万支	生駒市立大瀬中学校
平田 絢子	生駒市立緑ヶ丘中学校	畦田 真央	斑鳩町立斑鳩中学校
道田 麻知	平群町立平群中学校	松井 利真	大和郡山市立片桐中学校
富田 律子	天理市立北中学校	田中佑加子	大和高田市立高田西中学校
仲西 稚奈	桜井市立桜井西中学校	隅岡 歩	田原本町立北中学校
英 優美	宇陀市立榛原中学校	田仲佐都子	五條市立五條東中学校
上明代千恵子	五條市立野原中学校		

高等学校

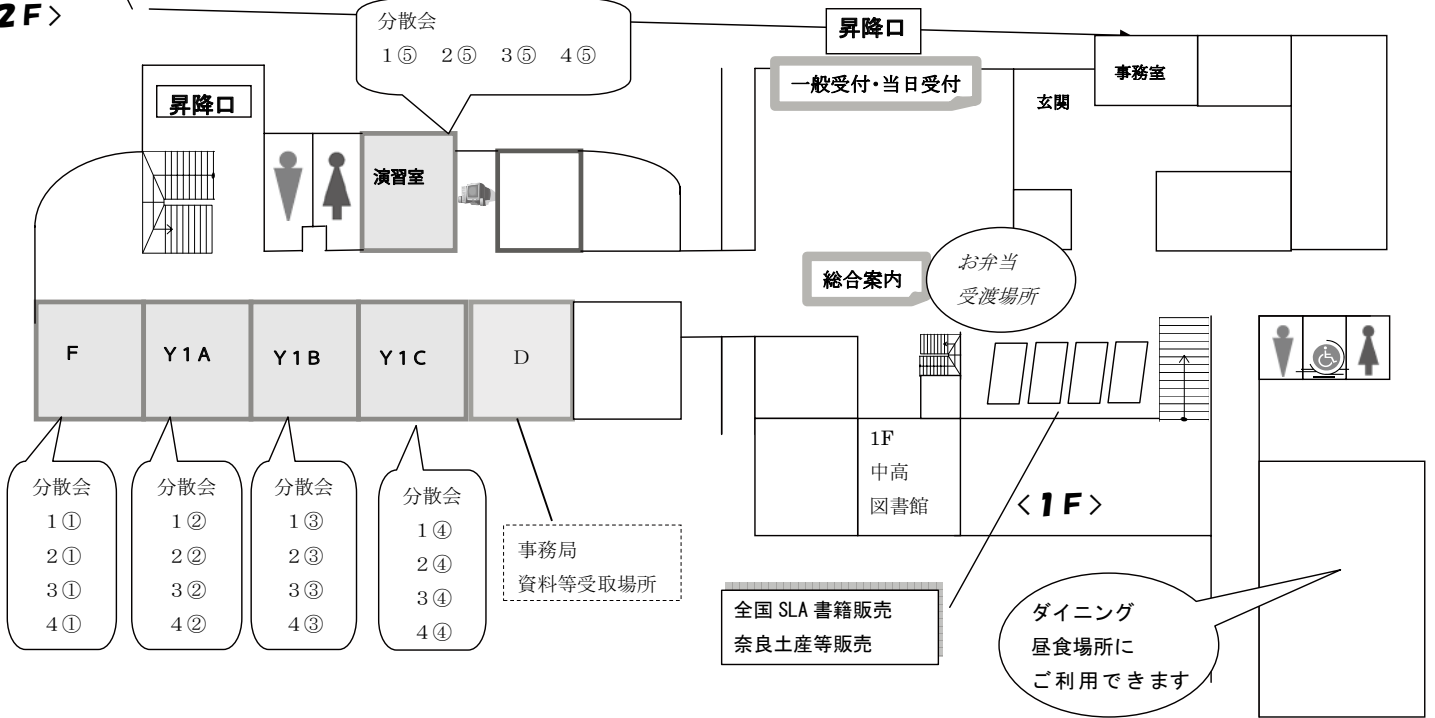
龍本那津子	県立登美ヶ丘高等学校	松尾 江美	県立生駒高等学校
武田 章良	県立奈良北高等学校	真粉由佳里	県立郡山高等学校
越地 憲孝	県立法隆寺国際高等学校	西本 直美	県立西和清陵高等学校
山本 晋司	県立大宇陀高等学校	岡田 圭司	県立王寺工業高等学校
平井 雅彦	県立大和広陵高等学校	加野 幸宏	県立香芝高等学校
大野 恭子	県立高田高等学校	片川 明弘	県立御所実業高等学校
瀧川 弘美	県立ろう学校	吉田 澄江	大和高田市立高田商業高等学校
松永 一穂	聖心学園中等教育学校	赤坂 正純	帝塚山学園高等学校
宮崎 薫	文化高等学校	三宅 和恵	県立奈良北高等学校
寺本 彩子	県立郡山高等学校	中野貴世子	県立磯城野高等学校
石川 美江	県立畝傍高等学校	木谷 江里	県立奈良情報商業高等学校
榎田 久子	県立青翔高等学校		

大学部(全体会場)

スリッパに履き替えてください。
(靴袋をご利用ください)

分科会会場 (奈良学園登美ヶ丘中学校・高等学校) 案内図

<2F>



<3F>

